

平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24 年 2 月 3 日

上場会社名 王子製紙株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 3861 URL <http://www.ojipaper.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 篠田 和久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 武田 芳明 (TEL) 03(3563)1111
 四半期報告書提出予定日 平成 24 年 2 月 13 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期第 3 四半期	920,648	3.9	48,557	△4.7	37,849	△16.7	19,090	△19.0
23 年 3 月期第 3 四半期	885,814	1.4	50,967	△4.7	45,430	2.7	23,566	40.8

(注) 包括利益 24 年 3 月期第 3 四半期 8,758 百万円 (51.2%) 23 年 3 月期第 3 四半期 5,791 百万円 (— %)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 3 月期第 3 四半期	19.33	19.31
23 年 3 月期第 3 四半期	23.85	23.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24 年 3 月期第 3 四半期	1,671,113	453,060	26.2
23 年 3 月期	1,620,927	455,998	27.1

(参考) 自己資本 24 年 3 月期第 3 四半期 437,649 百万円 23 年 3 月期 438,864 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 3 月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24 年 3 月期	—	5.00	—	—	—
24 年 3 月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 24 年 3 月期の連結業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,240,000	5.1	63,000	△3.7	51,000	△15.3	24,000	△2.5	24.31

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）王子 パペイス エスペシアイス 有限会社、 除外 1社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	1,064,381,817株	23年3月期	1,064,381,817株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	77,182,775株	23年3月期	76,484,868株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	987,613,786株	23年3月期3Q	988,162,254株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による落ち込みから一部で復興需要があるものの、電力不足への対応や円高の長期化、海外経済におけるタイ・カンボジアでの洪水被害によるサプライチェーンの混乱や欧州債務危機の顕在化などによる影響もあり先行き不透明な状況で推移しました。

紙パルプ業界におきましては、一般洋紙は震災影響による需要減少からの回復は限定的であり、依然低調に推移していますが、板紙・段ボールなどの需要は、飲料・加工食品関連で堅調に推移しました。コスト面では、チップ・重油・薬品など原燃料価格の上昇傾向が続いています。この影響は昨年度からの収益圧迫要因となっており、原料輸入の円高メリットやコストダウン努力では吸収しきれない状況となっているため、当第3四半期において一般洋紙や板紙、包装用紙の製品価格修正を実施しました。

こうした状況の中、当社グループでは、海外においては成長するアジア需要の取り込みを図るため、かねてよりマレーシアの板紙・段ボール事業の拡大を進めてきましたが、8月にはマレーシアの段ボール製造販売大手である Harta Packaging グループを公開買付により取得しました。さらに、9月にはブラジルのフィブリア社より感熱紙・ノーカーボン紙の製造拠点を取得し、商号をOji Papéis Especiais Ltda. (王子 パペイス エスペシアイス 有限会社) としました。また、国内既存事業においては、4月に富士地区における紙・板紙製造設備(抄紙機2台)の停止を実施、10月に王子製紙(株)富士工場を王子板紙(株)に移管し、最適な生産体制の構築によるさらなるコストダウンを図りました。以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高920,648百万円(前年同四半期比3.9%増収)、営業利益48,557百万円(同4.7%減益)、経常利益37,849百万円(同16.7%減益)、四半期純利益19,090百万円(同19.0%減益)となりました。

各セグメントの状況は、次のとおりです。

○紙パルプ製品事業

・板紙

段ボール原紙の販売は、飲料・加工食品関係の出荷が堅調に推移した事に加え、11月に実施した製品価格修正前の駆け込み需要もあり、前年を上回りました。

白板紙の国内販売は、高級板紙・特殊板紙・コート白ボールともに前年を上回りました。

・包装用紙

包装用紙の販売は、国内は震災影響による需要減もあり減少しましたが、輸出はアジア向け需要が堅調に推移したため増加しました。

・一般洋紙

新聞用紙の国内販売は、震災影響による新聞の部数・ページ数の減で用紙需要は減少し、前年を下回りました。輸出も減少しました。

印刷用紙の販売は、国内は震災影響等の需要減少により、塗工紙・微塗工紙を中心に低調に推移し、輸出も減少しました。

・雑種紙

雑種紙の販売は、前半は産業用途を中心に堅調に推移していましたが、海外経済減速による輸出産業の不振もあり秋口からは減少に転じ、累計では微減となりました。

○紙加工製品事業

・段ボール(段ボールシート・段ボールケース)

段ボールの販売は、飲料・加工食品関係等が堅調に推移し、前年並みとなりました。

・その他(家庭用品・紙器・粘着紙他)

衛生用紙の販売は、ティシュペーパーは増加・トイレットロールは減少しました。

紙おむつの販売は、子供用おむつ、大人用おむつともに減少しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比し50,186百万円増加して、1,671,113百万円となりました。流動資産は、休日要因による受取手形及び売掛金の増加や棚卸資産が増加したことなどにより57,654百万円増加し、固定資産は、設備投資の抑制により有形固定資産が減少したことなどにより7,467百万円減少しました。

負債につきましては、休日要因による支払手形及び買掛金の増加や有利子負債が増加したことなどにより前連結会計年度末に比し53,125百万円増加して、1,218,053百万円となりました。

純資産につきましては、2,938百万円減少して、453,060百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加9,211百万円、為替換算調整勘定（海外連結子会社等の純資産の為替換算に係わるもの）の減少7,015百万円、その他有価証券評価差額金の減少4,041百万円です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、第3四半期までの実績および直近の状況を総合的に判断し、平成23年11月4日公表の予想を以下のとおり変更いたしました。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）（百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	1,250,000	68,000	57,000	28,000
今回修正予想（B）	1,240,000	63,000	51,000	24,000
増減額（B－A）	△10,000	△5,000	△6,000	△4,000
増減率（％）	△0.8%	△7.4%	△10.5%	△14.3%

内需不振が長引く中、タイ・カンボジアでの洪水被害によるサプライチェーンの混乱から工業用途の需要が減少したこと、欧州債務危機の顕在化などによる海外経済の減速から輸出向けが低調であることなどから、販売状況が想定を下回って推移しております。また、営業外損益においてはパルプ市況の軟化から持分法投資利益の減少が見込まれます。

以上により、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益とも前回予想を下回る見通しです。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、王子 パペイス エスぺシアイス 有限会社の持分を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,393	49,387
受取手形及び売掛金	255,237	287,084
有価証券	636	573
商品及び製品	76,645	81,379
仕掛品	15,862	16,097
原材料及び貯蔵品	51,724	57,132
その他	47,125	45,701
貸倒引当金	△3,042	△3,117
流動資産合計	476,584	534,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	192,035	199,495
機械装置及び運搬具（純額）	305,743	334,666
土地	231,037	231,089
その他（純額）	162,443	102,091
有形固定資産合計	891,258	867,342
無形固定資産		
のれん	9,369	9,965
その他	10,234	9,242
無形固定資産合計	19,604	19,208
投資その他の資産		
投資有価証券	172,421	192,351
その他	68,470	61,344
貸倒引当金	△7,412	△3,372
投資その他の資産合計	233,479	250,324
固定資産合計	1,144,342	1,136,875
資産合計	1,620,927	1,671,113

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	197,419	217,531
短期借入金	219,331	393,051
1年内償還予定の社債	20,120	160
未払法人税等	10,489	5,569
引当金	2,349	1,480
その他	65,098	65,439
流動負債合計	514,808	683,232
固定負債		
社債	80,300	120,350
長期借入金	479,388	327,139
引当金		
退職給付引当金	47,792	48,593
役員退職慰労引当金	1,820	1,630
環境対策引当金	1,833	1,663
特別修繕引当金	126	126
引当金計	51,572	52,013
その他	38,858	35,317
固定負債合計	650,119	534,820
負債合計	1,164,928	1,218,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	103,880	103,880
資本剰余金	113,018	113,016
利益剰余金	292,090	301,302
自己株式	△43,040	△43,297
株主資本合計	465,948	474,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,839	1,798
繰延ヘッジ損益	355	△71
土地再評価差額金	3,557	4,874
為替換算調整勘定	△36,837	△43,853
その他の包括利益累計額合計	△27,084	△37,252
新株予約権	284	336
少数株主持分	16,850	15,075
純資産合計	455,998	453,060
負債純資産合計	1,620,927	1,671,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	885,814	920,648
売上原価	677,391	711,916
売上総利益	208,423	208,732
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	85,737	86,110
その他	71,717	74,064
販売費及び一般管理費合計	157,455	160,174
営業利益	50,967	48,557
営業外収益		
受取利息	415	249
受取配当金	2,566	2,602
持分法による投資利益	4,401	2,324
その他	2,498	1,908
営業外収益合計	9,882	7,084
営業外費用		
支払利息	8,141	8,179
為替差損	2,833	4,506
その他	4,445	5,106
営業外費用合計	15,420	17,792
経常利益	45,430	37,849
特別利益		
特別利益合計	822	1,275
特別損失		
投資有価証券評価損	1,415	2,029
特別退職金	1,091	1,695
固定資産除却損	2,448	1,237
その他	3,274	1,472
特別損失合計	8,230	6,434
税金等調整前四半期純利益	38,022	32,691
法人税、住民税及び事業税	12,496	11,122
法人税等調整額	1,618	2,217
法人税等合計	14,115	13,339
少数株主損益調整前四半期純利益	23,906	19,351
少数株主利益	340	261
四半期純利益	23,566	19,090

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	23,906	19,351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,787	△4,024
繰延ヘッジ損益	△441	△406
土地再評価差額金	—	1,331
為替換算調整勘定	△11,358	△5,311
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,528	△2,181
その他の包括利益合計	△18,115	△10,592
四半期包括利益	5,791	8,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,580	8,937
少数株主に係る四半期包括利益	△789	△178

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙パルプ 製品事業	紙加工 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	423,197	344,717	767,915	117,899	885,814	—	885,814
セグメント間の内部 売上高又は振替高	115,996	7,160	123,157	119,953	243,110	△243,110	—
計	539,193	351,878	891,072	237,853	1,128,925	△243,110	885,814
セグメント利益	37,244	12,874	50,119	3,669	53,788	△2,820	50,967

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材・緑化事業、不動産事業、コーンスターチ事業、機械事業等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額△2,820百万円には、内部取引に関わる調整額1,341百万円、のれんの償却額△1,246百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,996百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費です。
3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙パルプ 製品事業	紙加工 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	406,665	350,204	756,869	163,778	920,648	—	920,648
セグメント間の内部 売上高又は振替高	124,680	8,868	133,549	125,064	258,613	△258,613	—
計	531,346	359,072	890,419	288,843	1,179,262	△258,613	920,648
セグメント利益	30,673	12,458	43,131	7,333	50,465	△1,907	48,557

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材・緑化事業、不動産事業、コーンスターチ事業、機械事業等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額△1,907百万円には、内部取引に関わる調整額2,411百万円、のれんの償却額△1,467百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,801百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費です。
3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。